

豊田市

SDGs最上位2社認証

補助金上乘せなど特典

豊田市は市内事業者のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを評価する第1回認証制度で、最上位「ゴールド」に選ばれた施設管理会社「ホームメックス」（松ヶ枝町、飯原幹也社長）、自動車部品メーカー「豊田鉄工」（細谷町、坂元康彦社長）へ認証書を授与した。提出された50事業者のうち43事業者が認証を受けた。SDGsの認証制度は中部地方では初めて。

〔後藤真一〕



SDGs認証制度で最上位「ゴールド」を受けたホームメックス（左）と豊田鉄工（中）＝豊田市役所で

「ゴールドはハードルが相当高く、市内事業者への取り組みや環境マネジメント体制の構築、SDGs推進体制、多様な働き方、女性活躍の推進、働き方、女性活躍の推進、地域コミュニケーションへの配慮」が評価の高い順にゴールド、シルバー、ブロンズの3段階で、補助金の上乘せや入札加点、セミナー参加費の減免などが適用されるのに加え、信頼度向上や顧客・取引先の拡大などの効果も期待される。認証を受けた43事業者のうち、シルバーは12、ブロンズは29事業者だった。

市役所でこのほど行われたゴールド認証式でホームメックスの飯原社長、豊田鉄工の坂元社長に太田市長から認証書が手渡された。

1970年創業のホームメックスはSDGsに関連した企業理念を掲げており、飯原社長は「民間企業としてSDGs商品・サービスを進んでもらえる価値を高めた。認証を助みにさらに積極的

に、先進的にSDGsに取組むとともに、人手不足の中、採用時のPRにも生かしていきたい」と話した。

工学部のリサーチアソシエイト飯原友紀さんがSDGs推進に向けた情報発信について講演した。認証期間は2年後の2024年度末まで。市は12月28日まで、第2回認証の申請事業者を募集している。

「シルバー」ゴールドの認証事業者は次の通り。イマフィン、丸善製薬原、市川鉄工所、東海工業、三河商事、セブン・エン지니어リング・ジヤパン、ニシムラ、豊田プレス工業、明和工業、ETS、太陽建設、ひまわりネットワーク「ブロンズ」サンセルフ、豊田青果、福岡合成、リョーニイ、豊田電気、モダン建築、海老澤建設、藤和アスコン、ヤマガ道路、アイミクロン、オークラ工業、豊栄商会、花丘商事、WONS、鬼頭機器製作所、利達工業、大台メンテナンス、O・W・M、鈴木特殊鋼、才まいるサポート、豊田、スズヒロフマータ、リフト、鈴機、ニイト、三栄工業、安藤建設、メック、東工業建設、鈴木空内裝飾、三協高分子

2023年11月3日(金) 新三河タイムス